

# 令和 3 年度事業計画

## 1. 基本方針

少子高齢化の進展により人口減少と高齢化率の上昇に向かうなか、将来の労働力不足が見込まれており高年齢者が健康で意欲と能力のある限り年齢に関係なく働き続けることができる「生涯現役社会」を実現するため、多くの高齢者に対し就業機会を確保し提供することが重要となってきました。

シルバー人材センター事業は、高齢者による「自主・自立・共働・共助」の理念と事業の根幹である「安全はすべてに優先する」を基本に、多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進により社会生活の手助けとなる活力ある社会づくりに寄与しています。

しかし、佐用町シルバー人材センターの現状は、会員数はここ数年横ばい傾向に、契約金額は平成 29 年度をピークに減少傾向にあります。さらに、令和 2 年度はコロナ禍による影響もあり、前年度から大きく減少しています。

シルバー人材センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行なうためにも、「就業機会の拡大」とともに「会員の拡大」が最重要課題となることから、会員自身による就業開拓はもとより、役職員一丸となって就業機会の拡大と会員増強の促進に努め安全就業の強化を図りながら、住民に信頼され、地域社会にとってかけがいのない存在となる佐用町シルバー人材センターを目指してまいります。

会員の皆様をはじめ関係各位のより一層のご理解、ご協力、ご指導をお願いいたします。

## 2. 事業実施計画

### I. 会員数の拡大

会員数の拡大は、高齢者の就業機会の拡大、生きがいの創出、地域社会の活性化を目的とするシルバー事業の根幹をなす課題です。

1. 随時の入会説明、随時の入会受付を継続します。
2. 口コミ活動の推進により、会員・役職員が会員を増やす意識で取り組みます。
3. 女性会員の就業機会の増加が見込まれる中、女性会員の更なる入会を推進します。
4. 就業に対する知識・技能の向上のための講習会・研修会を開催し、後

継会員の育成にも努めます。

5. 会員にとってより魅力あるセンターを目指し、退会の抑制を図ります。

## II. 安全就業の徹底

シルバー事業の基本は「安全はすべてに優先する」です。会員一人ひとりが自分のことと受け止めて、「自分の身は自分で守る」ということが重要です。

会員の安全に対する意識を更に高め、事故ゼロ運動を強力に推進します。

1. 安全は、シルバー事業の基盤であり、すべてに優先することを会員に周知徹底します。
2. 安全用具の確実な着用の徹底を図ります。
3. 安全パトロールをより強化し、事故ゼロを目指します。
4. 会員一人ひとりが安全への責任を持つという意識を醸成します。
5. 安全作業に向けた講習会を開催します。
6. 健康講座の開催、健康診断の受診勧奨等会員の健康面での支援を行います。
7. 推進員、班長、安全委員等から就業会員に、安全就業への注意喚起と情報共有を徹底します。
8. 新型コロナウイルス等感染症対策及び感染症を防ぐための対策について周知、徹底を図ります。
9. 会報、安全ニュース等を活用した周知活動を行います。
10. 安全就業標語を募集・活用など啓発に努めます。
11. 安全就業推進大会を開催し安全就業第一の意識の共有を図ります。

## III. 就業機会の確保拡大と適正就業の推進

就業機会の確保拡大は、会員数の拡大とともに大切な課題です。地域のニーズに対応すべく、会員の技能知識の向上と適合する就業機会の確保に努めます。

安全・適正就業対策の推進は、会員の就業中における無事故を目指すとともに全ての業務における適正就業を推進します。

1. 口コミによる仕事の開拓にも取り組みます。
2. 派遣事業をさらに推進します。
3. ボランティア活動などを通じ、センターのPR等に努めます。
4. 適正就業ガイドラインの周知に努めます。
5. 発注者への迅速丁寧な対応を行います。
6. 受注した仕事を丁寧に仕上げます。
7. 会員の知識技能の向上に努めます。

#### IV. 地域内の連携強化

シルバー人材センターへの期待は大きく、地域ニーズに対応していくことが求められています。地域自治体をはじめ、地域の様々な団体等との連携が一層重要です。

1. 自治体や自治体関連団体との連絡協調に努めます。
2. 地域社会の要請に対応できる安心と信頼の事業運営に努めます。
3. 兵シ協や各センターとの連携を強化します。